

伊賀市 事務事業事前評価シート

新規・施設の建設

事業名	3003	防災基盤備蓄倉庫整備事業
基本施策	15	自然災害等への十分な備えをする

担当部課名	総合危機管理課
作成者氏名	鹿島 泰近
連絡先	内線2320

事業の計画・内容

建設目的 被災時における初動対応としての、被災者への物資の供給、救助活動及び避難施設内での必要な資機材を保管するため、「防災倉庫」を整備する。	建設内容	1 建設用地	伊賀市市有地内公共施設
		2 建設面積(延床面積)	未定
		3 規模・構造	既存施設等活用
		4 総事業費(千円)	60,000

投入資源

		H19	H20	H21
①投入人員	正規職員 (人)	1.5	1.5	1.5
	人件費合計(A)	10,800	10,800	10,800
②支出内訳(千円)	事業費(B)	20,000	20,000	20,000
	工事費	20,000	20,000	20,000
	その他			
合計(A+B)		30,800	30,800	30,800
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	5,000	5,000	5,000
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
一般財源	25,800	25,800	25,800	
上記①～③に関する特記事項 緊急地域総合防災推進事業(県単) 補助率1/2 限度額5,000千円				

運営体制の予定

1 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託
(委託先:)
2 配置予定人員	0 人
3 年間運営費	0 千円
4 市内の主な類似施設	無し

事業年度

開始年度	平成 19 年度	終了年度	平成 21 年度
------	----------	------	----------

事業計画(※同内容の資料がある場合、添付でも可)

区分	年 度				
	H19	H20	H21	H22	H23
工事	←—————→				

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	目 標
防災倉庫整備数	防災倉庫を増やすことが、備蓄品等の安全確保に繋がり、非常時への対応力の確保を示す指標となる。	平成 21 年度 6箇所

評 価	必要性	有効性	効率性
4	また、新たに、武力攻撃事態等に対応する市国民保護計画の中にも、物資及び資材の備蓄及び整備の項目を盛り込む予定であり、防災倉庫の必要性が高まっている。	4	合併前から引き継いだ保管場所(支所庁舎、コンテナ等)にある程度の物資、機材等が保管されているが、対震性及び対候性に問題があり、保管状況も本庁、各支所において一定ではないため、防災倉庫を整備することで、これらの諸問題が解消されるとともに、本庁、各支所それぞれに整備することで、災害時等において孤立した場合、当面の間、自活できる。 なお、防災資機材整備事業を平行して進めないと、効果を発揮しない。
		4	災害時及び武力攻撃事態等への対応のため、本庁、各支所管内へ各1箇所ずつ既存施設を活用する方向で整備するため、現有施設における候補施設を調査していく必要がある。
		4	

総合評価
A